

防災・安全ニュース

VOL. 30

危機管理課

2025年10月号

電話：65-1282

暑さ寒さも彼岸までと申しますとおり、先月の秋分の日辺りからぐっと暑さも和らいで参りました。しかし、油断大敵、まだまだ日中の気温は高いので食中毒には十分ご注意ください。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 竜巻から身を守る
- ・ 割れ窓理論（全国地域安全運動）
- ・ 気温 40℃以上の日は酷暑日？

竜巻から身を守る

先月5日に台風第15号の接近に伴い、静岡県内の複数か所で竜巻などが発生しました。中でも牧之原市で発生した竜巻は、国内最大級だったようで、突風の強さ（風速）を評定するJEFスケール（日本版改良藤田スケール）の0～5の6段階のうち、上から3番目のJEF3（風速67～80m/s）であったと推定されています。

今回の竜巻では、雨戸を閉めようとしたところ、家の中の空中で体が2回転ぐらいて部屋で電灯に背中が当たり、その後、室外に飛ばされたと言った方もいるようです。

竜巻は、時には車よりも速いスピードで移動し、ものを巻き上げるだけでなく、巻き上げた様々なものが猛スピードで飛んできて突き刺さるという恐ろしさもあります。竜巻に遭遇した時の対処法は、次のURLで確認してください。

竜巻から身を守るには（気象庁HP）

→ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/tornado4-3.html>



割れ窓理論（全国地域安全運動）

割れ窓理論とは、簡単に説明すると、まちの中で窓が割れているのを放置していると隣の窓も割られ、やがて路上にごみがあふれ、いずれ犯罪が多発するようになるという理論です。すなわち、小さな不具合やルールなどを破ることを放置すると、「誰も気にしていない。」「これぐらいはいいだろう。」という気持ちが蔓延し、最後には、まち全体の治安が悪くなるというものです。



防犯協会と警察などは、10月11日（土）から10月20日（月）の10日間、「全国地域安全運動」を実施します（11日は安全安心なまちづくりの日）。

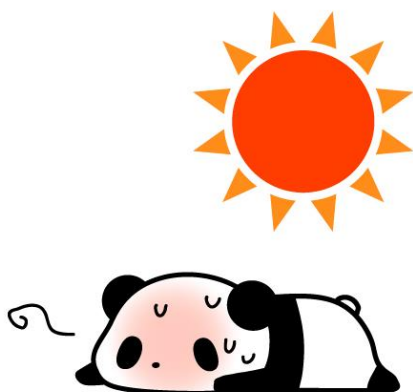
まちの治安維持には、ごみ拾いやご近所との日頃の挨拶、花壇の手入れなどの身近な小さな取り組みも役に立ちます。特に、挨拶や見かけない人への声掛けは、連帯感のあるまちを印象付けて犯罪抑止に貢献するそうですので、実践していただきたいと思います。

割れ窓理論とは？まちを清掃すると犯罪率が下がる理由（ALSOK HP）

→ <https://www.alsok.co.jp/person/recommend/053/>

気温 40℃以上の日は酷暑日？

気象庁では、最高気温が 25℃以上の日は「夏日」、30℃以上の日は「真夏日」、35℃以上の日は「猛暑日」と名称を付けています。



近年の夏は、皆さまも感じられているとおり異常な暑さが連続しています。実際、今年の夏は群馬県で国内最高気温の41.8℃を観測し、40℃以上を観測した日数が9日、観測した地点も延べ30地点で、いずれも、これまでの記録を更新しました。そこで**気象庁**では、**危険な暑さになっていることを**

簡潔に伝えるため、40℃以上の日に名称を付けることを検討中であり、候補として「酷暑日」があがっていて、早ければ来年の夏から使用するとの報道が先日ありました。年々、夏が更に暑くなって45℃以上の日に名称をつける日が来ないことを祈ってやみません。

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今年の「霜降」の入りの日は、10月23日ですが、霜降り牛肉を食べる日ではありません。霜降（そうこう）は、二十四節季のひとつで、気温がグッと下がって霜が降り始める時期を表します。霜降から次の立冬までの期間は、文化の日を挟んで2週間の読書週間とも一部重なりますので、秋の夜長に読書を楽しんでは如何でしょうか？もちろん食欲の秋ということで、霜降り肉のすき焼きを楽しんでもよろしいかと思います。

(N.0)